

第7回シンポジウムアンケート 自由記述（意見・感想）一覧

質問ウ① 「地域自立支援協議会 10年の歩みとこれから」について

- ・一年一年積み上げていくのは大変でしょうが、いろいろ検討されていますね。
- ・今後の課題を具体的に知りたかった。
- ・わかりにくい。もう少しいいいな説明がほしかった。時間が少ない。
- ・協議会の中で討議されたことが、自分達の子どもを取り巻く地域の中でどれだけ実態に結びついているのか。話し合いの中味が充実していても反映されなければ無意味となってしまう。見える形になっていくことを希望します。
- ・委員構成も内容も年々充実していった様子がわかりました。これからも期待しています。
- ・長い間いろいろ話し合われてきたことはありがたいです。それを生かしてほしい。
- ・地域共生社会に向けて、高齢分野の方が委員に加わったことを知り、時代に合わせて変化していることを確認しました。
- ・少しづつ前に進むことに期待しています。
- ・資料を読みます。（3名）
- ・資料がわかりやすくできていて、会長のお話もまとまっていてよかった。
- ・さらにもう少しポイントをしぼると（スライドも）わかりやすかったと思います。
- ・閉会のごあいさつに感動しました。

ウ② パネルディスカッション「地域における障害者の自立生活（暮らし）を考える」について

- ・これまでで一番よかった。今までのように行政主導でなく、民間の皆さんも運営に関わっているようだし、相談支援事業所がサポーターでパネリストとなっていたことは印象的。
- ・障害があっても前向きに生活に取り組む姿は感動的。
- ・はたらきかけの大切さを学んだ。
- ・それぞれの立場でのお話で、思いが込められていてよかった。地域移行の話題は、地域での暮らしの話題とイコールだと感じました。
- ・地域移行が難しい中で、とてもうまくいったケースだと思います。明るい光がみんなで共有できたことはとても良かった。
- ・相談員の支援の姿勢を聞くことができてよかった。
- ・もう1、2例聞きたかった。
- ・ご本人にとって障害の重軽にかかわらず、選択できる地域生活について考えさせられた。
- ・二人共とてもしっかりしていて、8年間も入院していたことが信じられませんでした。
- ・当事者が自分の言葉で話されていたのがとてもよかった。（6名）
- ・当事者のお話がよかった。ただ支援の仕方については、当事者のプライドもあるので、ご本人の前では聞きづらかった。
- ・これからどう広がっていくかに関心がある。
- ・支援があつての充実した生活が成り立っていることがよくわかった。パネリストの方は、本当にうまくいっている人の場合であつて、どう頑張ってもそこにたどりつけない人の声を聞きたい。（本人の発信は難しいので親と一緒にパネリストとしての発表もほしい）
- ・もっと重い子をどう援助しているのか聞きたい。軽い子ばかりでなく。「話せる」というのが大前提なので

- しょうが、障害者はいろんな子がいるので、もっと重い子の例が聞きたい。
- ・施設→自立訓練を経てグループホームにてパン屋さんで仕事をされている方など、自己決定をしてもらい責任をもって生活してもらえるように、相談支援の方が工夫している。
 - ・直接当事者や支援者の声を聞くことができ、サポートを受けての自立した生活をイメージすることができました。笑顔や自由があること、大変なことがあっても自分で決めている様子が印象的でした。
 - ・病院からの退院プロセスが大変そうだと思います。「区からの声かけ」をきっかけというところにちょっと驚きました。自分でタイミングを計れないのでしょうか。
 - ・就労支援、生活支援等を施設やサービスに結びつけて成功している人達の話が主でしたが、まだ支援や情報不足から、取り残されて放りっぱなしでうまく支援が結びつかない場合があることを知っていただきたいです。
 - ・支援者、見守る人が多くなることが大事と思われる。
 - ・ご本人の現在の状況や気持ちをととてもよく伝わるように、話題を上手にもっていったと思います。会場の質問とのやりとりも、コーディネーターや支援者がよく回してくださいました。
 - ・ジェンダーフリーという点では、女性もいらっしゃるとよかったです。
 - ・お二人の話は素晴らしかったのですが、精神の場合は病院のNRSやPSWからも参加があるとよい。(退院調整期間の病棟内のケア、ご本人のリハビリをどう思ったか?)
 - ・自分は居宅介護支援専門員として、高齢者のケアをしている(娘さんは精神疾患で入退院を繰り返している)。今まで自分は、GHの対象が認知症の方だけと思っていたので、知ることができてよかった。
 - ・パワーポイントのオレンジ色や黄色の文字が見えづらかった。
 - ・最後の地域移行における現状などの資料は勉強になるので欲しかった。この20分が一番大切に聞きたかったことでした。

ウ④ 全体を通しての意見・感想

- ・介護保険関係の仕事を普段している私としては、これからの生涯を設計しなければならない障害者の方々のお話しは、高齢者とはまた違う多難を感じた。
- ・自分の意思で決めて生きていくことが大事ということが、当事者の表情を見て思いました。
- ・シンポジウムは継続してやった方がよい。自立支援協議会の活動が地域の中で認識され、ネットワークの形成、当事者の自立した地域生活を支えられる機会になればよいと思う。
- ・今後のわずかながらの希望や課題がよくわかりました。
- ・当事者の方と一緒に参加しましたが、「地域で暮らす」ことに前向きになり、希望を少しでも持っていただけなのではと感じています。
- ・私は事故、病気後やっと復活できてきましたが、年を重ねていき、子供や孫は遠くにいてあてにできないので、一人は不安です。
- ・出席者とのやりとりも多くあったので、全体的に「参加感」のようなものがあり、よかったと思います。
- ・**地域**で支援する・・・**杉並らしさ**・・・ 前向きに考えていきたい。
- ・もっと深く議論になっていくといいと思います。うわつつらだったように思う。パネルディスカッションも課題を残して終わるくらいがいいと思いました。
- ・視覚、聴覚に障害がある方への配慮がありよかった。
- ・ピアカウンセラーの意見を聞くことができよかった。大切なお仕事ですね。
- ・軽度の障害に対してサポートは容易?かもしれないが、重度の障害者に対する支援は具体的にはどうすれ

ば・・・。

- ・精神と知的の話に偏っていて、身体や発達の方の話が聞いてみたい。
- ・井上さんの話は理解できたが、家族が杉並にいて区外の精神病院に入院している人の移行支援についてももう少し話が聞きたかった。
- ・病院から地域への生活を移行する方法を知りました。遠方の入所施設（病院等）に生活する人達が、生まれた場所へ少しでも戻れることができるのかと感じました。
- ・障害や福祉への理解や情報を、地域や健常の方に広めていく必要があると感じました。今後の課題だと思います。
- ・これから自立に向けて考える時の参考になりました。支援を受けながら自立させることに安心感を受けました。
- ・今日は各部会の説明がなく、毎回繰り返しているの、なくてよかったですと思います。全体の中ではやはり、ご本人たちのパネルディスカッションが中心でよかったですと思います。
- ・暮らしに着目し、そこから出発する地域包括ケアシステムとの連携まで深められたらよかったです。
- ・大変感動しました。息子と当事者の年齢が近そうで、息子も当事者のようにしっかり生きてほしいと願っています。本人が本気になって考えないので困っています。
- ・なごやかな進行で聞きやすかったです。当事者の声を聞いたこともよかったです。
- ・今後のケアの相談を受けたときに、こういった所（GH）があると紹介できるので、参考になりよかったです。
- ・ほとんど知らないことだったので、取組みについて知ることができてよかったです。
- ・第2部がとてもわかりやすかったです。会場のレイアウトもよかったです。
- ・パネルディスカッションの前に「地域移行」の説明をさらっとした上で、パネルディスカッションへ入るとよりよかったですのではないかと。
- ・寺西さんの説明はよくわかったが、実際、協議会としてどう活動しているのかが見えない。
- ・会場から、地域に理解を求めることの重要性についての発言がありましたが、このシンポジウムの機会をきっかけに協議会の存在が広く知られ、本会での意見交換が活発になっていくとよいと思いました。
- ・精神当事者の方のスライドもあるとよかったです。
- ・ピアサポーター、ピア活動について地域に、より具体的に伝わるように準備しておきます。
- ・移行プレ相談事業の資料の配付があればわかりやすい。私語が多い人が近くの席にいたのが残念。

エ② 今後、杉並区地域自立支援協議会に期待することはありますか？

- ・高齢の親と障害者が一緒に、または近くで暮らせるような施設があるとありがたい。（大田区に最近できた）
- ・精神障害者へのサービスで、医師からすすめられたサービスが、杉並区では受けられないことがいくつかあったので残念。
- ・地域や区民への障害者の理解を深める取り組みをもっとしっかりしてほしい。
- ・区報（広報すぎなみ）等で内容、シンポジウムの報告をしてほしい。
- ・地域の人達の理解を得ながら、地域の中で生活して行ける様に願っています。
- ・あってよかった自立支援協議会。当事者も支援者も家族もそして行政も！
- ・地域移行促進部会の取り組みの結果など、今後ともこまめにお知らせ頂ければありがたいです。
- ・杉並区内、区外に限定されない住まいの場に関する情報収集と、その発信できる場の創設など、住まいだ

けでなく一括で管理する窓口などがあればいい。

- ・これからますます年を取るので、体調が悪くなった時のショートステイ先が欲しいです。作業所にはとても助けられています、一人暮らしは慣れず、居場所が欲しい。
- ・それぞれの分野の方々が顔の見える関係を作り、住みやすい地域になるとよい。
- ・精神科入院者が退院するにあたっての地域の受け入れを広く厚く温かく！
- ・自立支援協議会でいろんな部会をもうけ、会議してくださってありがたいと思いましたが、それが私達の障害を持つ子にどう反映されているのか？と思います。話し合われた事が生かせるようにと思います。
- ・質問でも言われていたが、障害に関心がない人に知ってもらう方法を教えてほしい。
- ・もっともっと地域住民にアピールしてください。障害のあるなしにかかわらず自立支援の方法、社会資源を知らない人が多いと思います。シームレスな支援の必要性を日々感じています。
- ・施設や受け皿、受け入れる選択肢を多くしてほしい。障害当事者で情報を知る（インターネットが使えない人達、使用できない環境にある人達でも情報を入手できる方法、支援をしてほしいです。今回の情報もチラシや広報すぎなみを注意深く見る等苦労がありました。
- ・P.10 (1) 住む場～、(2) 医～、(3) 区民の理解～を区民に見える化して頂きたい。
- ・当事者を真ん中にしているいろいろと話し合いをしていただければ幸いです。
- ・ぜひ、障害者理解の講座をたくさん行ってください。(共催などもできたら)
- ・計画でもこれからの重点は「地域移行」です。そのためには、区内の受け皿（GH、就労、日中活動の場）がまだまだ少ないです。制度上、サービスを提供する事業者は、支援法の報酬を収入として経営しますが、報酬は高くなく、その事業所で働く人材の確保も大変になっています。事業者、人材をしっかり支える協議会であってください。
- ・何をしているのかこのシンポジウム以外ではみえてこない。
- ・来年度は、ケア24毎に地域の方と地域の課題について話し合う場（生活支援体制整備事業、第2層の協議体）の設置を考えています。地域には高齢者だけでなく、お子さんもいらっしゃるのですが、まだまだケア24をご存知ない方も多いと感じます。地域の障害関係の方々との関係づくりにご協力いただけると嬉しいです。
- ・介護保険の利用者が、障害者と二人暮らしという事案がぽつぽつある。大人になってから障害が、利用者の生活に大きく影響しながら支援を受けていない場合もあり、連携をお願いする事があると思います。
- ・知っていたのは「名称」だけで、実態はほとんど理解していなかった。

その他

- ・すまいるは3地域にありますが、荻窪は精神を重視して活動しているようです。ほかの地域でも荻窪を利用できるのでしょうか？3か所がゆるやかにつながってほしいです。
- ・知的障害と精神障害など、もっと手当などを支給してもらいたいと思います。
- ・会場に机がなくてよかった。
- ・むかって左の筆記画面とってもよいですね。内容が即座に集約されてわかりやすい。パソコンから入力して、画面で写し出してもらって、そのまま議事録としてくだされば、欲しいです。手話もGOODです。

以上